



ハウステンボスで成人式

1月9日(日)、本市は令和4年成人式典をハウステンボス敷地内のゲルックホールで開催し、新成人の新しい門出を祝福しました。今年の式典テーマは「繋」。同年代の検討委員11人が企画・運営を行いました。

今回のハウステンボスでの開催は、開業30周年を迎えるハウステンボスの協力の下実現したもので、開催に当たっては事前申し込みによる参加受け付けが行われました。対象者2284人のうち1989人が事前申し込みを行い、当日は1859人がハウステンボスに入園、久しぶりに会う友人たちとの再会を喜ぶ姿が園内各所で見られました。

二十歳の決意では、阪南大学の川野愛美さんと佐世保市役所の川瀬海斗さんが登壇。川野さんは「感謝の気持ちを忘れず、自らの将来を切り開き、世界中の人を笑顔にしたい」、川瀬さんは「失敗を恐れず、日々挑戦し続け、自ら未来を創っていきたい」とそれぞれ抱負を述べました。

また、式辞の中で朝長市長は「佐世保市や日本の将来を担う原動力として、自分自身を律しながら、思いやりと感謝の心を忘れず、逆境にもくじけない強い心を持って明るい未来を切り開いていただきたい」と新成人へ激励の言葉を送りました。

開式前には歌劇ザ・レビューハウステンボスとレビューHTB天鼓が祝いの舞や演奏を披露して式典に花を添え、新成人から大きな拍手が送られました。

◎ 社会教育課 ☎ 24・1111



歌劇 ザ・レビュー ハウステンボス 祝いの演舞

二十歳の決意を述べる川瀬さんと川野さん

開式・閉式のあいさつや司会などを行う検討委員でことし新成人の皆さん